

2015年7月30日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2016年3月期 第1四半期連結決算
当期純利益は前年同期比24%増の815億円
～第1四半期の当期純利益として過去最高額を更新～

2016年3月期第1四半期(2015年4月1日～2015年6月30日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比43%増の6,061億円、税引前当期純利益は同19%増の1,239億円、当期純利益は同24%増の815億円となりました。

なお、第1四半期の当期純利益では、6期連続で増益となり、営業収益および当期純利益ともに過去最高額となりました。

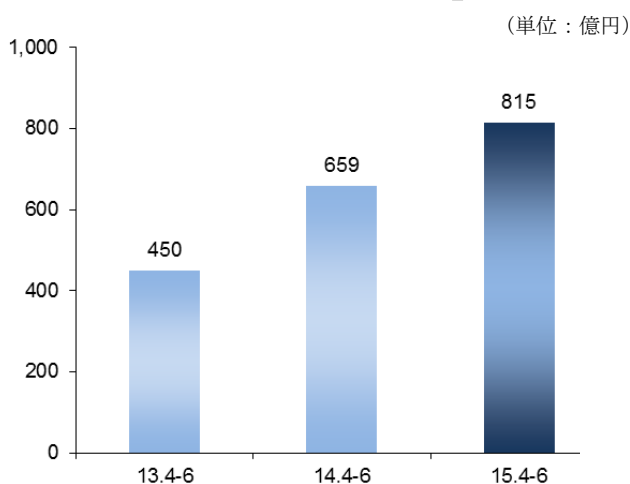
■ 主な経営指標の推移

	2014. 4-6	2015. 4-6	増減率
営業収益	4,253 億円	6,061 億円	43%
税引前当期純利益	1,045 億円	1,239 億円	19%
当期純利益 ※	659 億円	815 億円	24%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	13.7%	15.0%	—

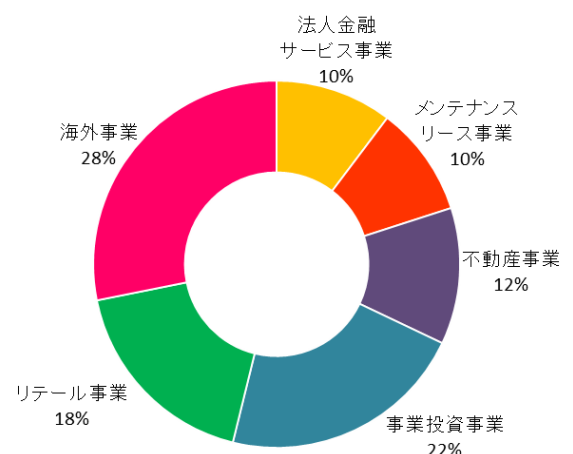
	2015. 3	2015. 6	増減率
総資産	114,436 億円	112,520 億円	▲2%
セグメント資産	91,702 億円	89,187 億円	▲3%
株主資本 ※	21,522 億円	21,867 億円	2%
株主資本比率 ※	18.8%	19.4%	—

※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当四半期のセグメント利益内訳』



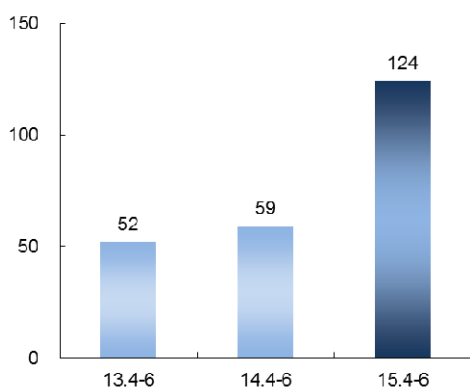
■ 各セグメントの業績概要（2015年4月1日～2015年6月30日）

当第1四半期は、前年同期と比較すると、「事業投資事業部門」「法人金融サービス事業部門」および「不動産事業部門」の利益が大きく伸長しました。加えて「メンテナンスリース事業部門」が堅調に推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<四半期セグメント利益>（単位：億円）

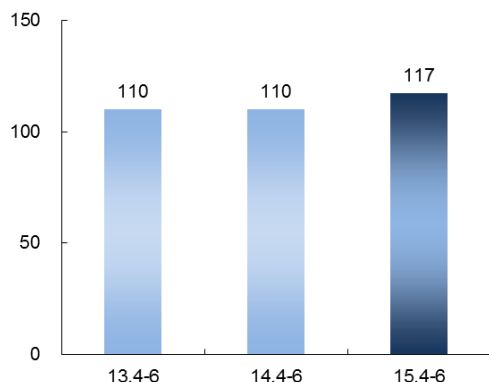


- ・ 昨年 12 月に買収した弥生の利益貢献に加え、生命保険販売などの各種手数料ビジネスからの利益が順調に増加。
- ・ 投資先の株式売却益を計上。
- ・ セグメント利益は、前年同期比約 2 倍の 124 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<四半期セグメント利益>（単位：億円）

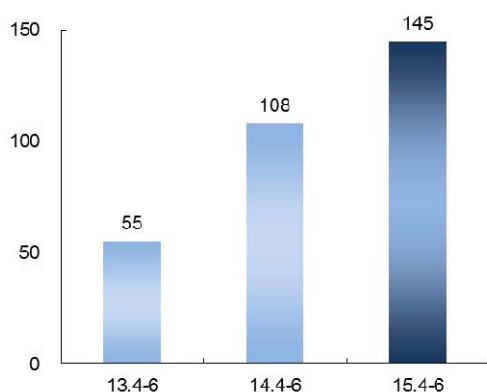


- ・ オリックス自動車のリース資産が順調に拡大したことにより、リース収益が増加。
- ・ 車両管理などの付加価値サービスの収益も増加し、高収益性を堅持。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 6% 増の 117 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<四半期セグメント利益>（単位：億円）

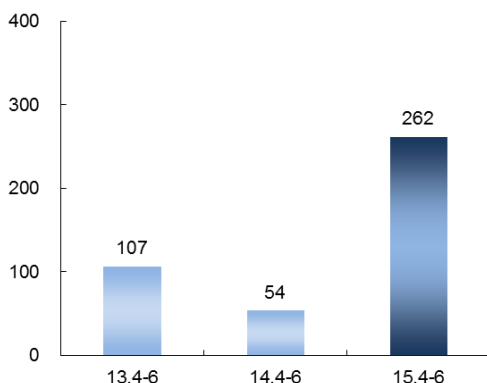


- ・ 賃貸不動産売却益、および運営事業などからのサービス収入が増加。
- ・ 資産残高減少ならびに長期性資産の評価損減少に伴い、セグメント費用が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 33% 増の 145 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

<四半期セグメント利益>（単位：億円）

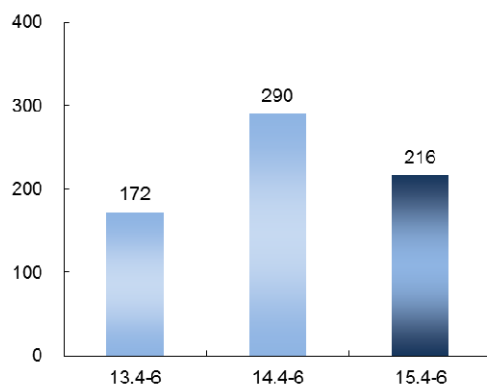


- ・投資先からの収益と大京のマンション引渡し戸数の増加が貢献、環境エネルギー事業の収益も順調に推移。
- ・複数の投資先の株式売却益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 4.8 倍の 262 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<四半期セグメント利益>（単位：億円）

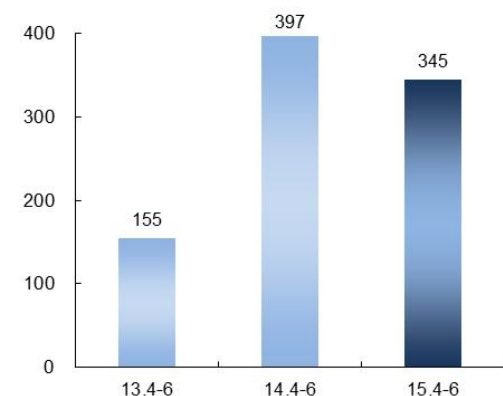


- ・オリックス生命の保険収益および運用益が順調に伸長し、昨年 7 月に買収したハートフォード生命の貢献もあり、生命保険事業の収益が増加。
- ・前年同期は、マネックスグループの株式売却益（約 150 億円）を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 25% 減の 216 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<四半期セグメント利益>（単位：億円）



- ・ロベコのアセットマネジメント収益や米州の手数料収益および金融収益が増加。
- ・前年同期は、韓国の STX Energy（現：GS E&R Corp.）の株式売却益（約 160 億円）を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 13% 減の 345 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。オリックスグループの強みと専門性を生かしながら、「既存事業の成長」と「重点分野への新規投資」を推進し、目標とする経営指標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 藤井・堀井・中村 TEL : 03-3435-3167